

**ご意見・ご質問コーナーに寄せられたご意見ご質問  
(期間：平成 23 年 10 月 27 日～平成 23 年 11 月 9 日)**

## 福島第1原発の収束について

○年 齢 : 36歳～40歳

○性 別 : 女性

○職 業 : 主婦

○都道府県名: 東京都

○ご意見の内容:

原発作業員の話によれば、東電は今後の補償・賠償に備え、事故収束にかかる予算を削りにかかっているそうです。非常に腹立たしいことではありますが、単なる一私企業が保身のためにそう動くことは容易に想像できることです。

野田内閣が本気で原発事故の収束をする気があるならば、早く東電から主導権をもぎ取り、日本の英知と技術を結集した「事故収束委員会」を発足させ、最優先で予算を組んでいくべきです。

事故から8ヶ月、いまだに放射性物質は垂れ流されています。

このままでは日本の不動産の価値は下がり、農産物も海産物も工業製品も輸出制限され続けます。外部・内部被曝による遺伝子の損傷は子孫にまで引き継がれます。不妊のため少子化は進み、反比例して医療費が増大し、医療保険制度も年金制度も破綻します。すべて電気事業連合会及び東京電力、原子力安全・保安院による実害です。それを許してきた原子力安全委員会も同罪です。

これだけの大事故の後、東電も原子力安全・保安院も原子力安全委員会も、誰も責任を取っていません。原子力委員会からぜひとも政府に進言し、原発事故の収束に向けて全力で取り組んでいただけますようお願い致します。

## 放射性廃棄物処理に関する提言

○年 齢 : 61歳～65歳

○性 別 : 男性

○職 業 : 無職

○都道府県名:大阪府

○ご意見の内容:

福島第一原発の状況は、溶融した燃料を取り出す技術が現在ない以上、石棺化するにしてもウランの半減期を考慮したなら永久に管理し続けなければならない。先の見通しも立たずこのまま10年以上水で冷やし続けることしか策がないのだから、環境に(特に海)対する影響は計り知れない。

また居住区以外の自然も汚染されているので、汚染作業着、除染土、焼却灰など今後も増え続けるだろうと思う。

そこでその処理方法として

1. 原発の周囲を放射能管理区域に指定
2. その区域内に汚染物専用の焼却炉を設置(煤煙の放射能除去装置)
3. 原発の内陸側に大地下壕を建設
4. 地下壕建設工事で出た土砂と震災の瓦礫とで、原発沖合いに幅 50 m程の堤防を建設して原発を海洋より隔離
5. 地下壕は放射性廃棄物の処分場に、堤防で囲まれた内海は震災の瓦礫処分場に

近年の異常気象を考慮したなら、仮の処分ではどんな二次災害が発生するか計り知れない。国家プロジェクトとして早急に対処されることを希望します。

## 九州電力原発稼働について

○年 齢 : 36歳～40歳

○性 別 : 男性

○職 業 : 会社員

○都道府県名: 千葉県

○ご意見の内容:

どさくさにまぎれて再稼働しているようですが、国民の理解を得られていないのになぜこうなるのですか？国から停止できないんですか？

企業継続ありきで顧客にまったく向いていない。公害企業のチツソと同じ。経営者の考え方もおかしいと思います。

これまで十分稼いできたんだし、赤字でも構わないじゃないですか。それでだめなら会社更生法を適用すべき。